

# 外来でがん化学療法を行った延べ患者数

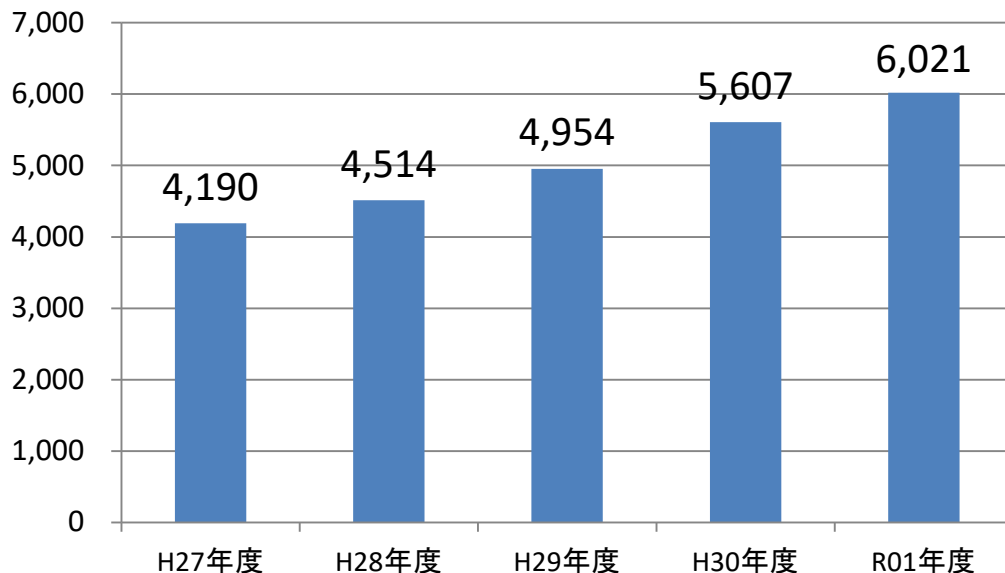
## ■ 解説: process指標

がん化学療法の多くは外来で行うようになり、日常生活を送りながら治療を受けられるようになりました。これは患者の生活の質向上につながります。

外来で適切に化学療法を行うためには、担当の医師、看護師、薬剤師等の配置が必要になります。外来化学療法を行えるだけの職員、設備の充実度を表す指標です。

## ■ 当院の実績

(人)



### 《自己点検評価》

がんの患者さんの増加等により、受け入れ人数が増加傾向にあります。入院治療から外来治療への移行に伴い、薬剤師の増員を図り、予約枠の増枠等を整備しました。また、平成30年度には化学療法室の治療ベッドを15床から20床へ増床し、体制整備を図りました。

## ■ 定義

医科診療報酬点数表における、「第6部注射通則6 外来化学療法加算」の算定件数

## ■ 算式

レセプト算定件数

■ 令和元年度国立大学病院報告書: 100床換算; 中央値1079.40、当院1058.17

